

のぎわっ子

平成30年度
学校だより
磐田市立東部小学校
平成30年11月27日

11月会礼

読書好きな子になってほしい

校長 中村 忠裕

校長室の前に「かい練をう習そなつは」と大きな字が書いてあります（写真右）。並びかえるとどんな言葉になるでしょう。

そうです。「練習はうそをつかない」です。皆さんは、10月28日の運動会で素晴らしいダンスや踊り、組み体操を見せてくれました。みなさんの家の人や地域の方は感動をしていました。それも「練習はうそをつかない。練習したぶんうまくなる」という気持ちで、練習してきたからです。



11月28日には、のぎわっ子マラソン大会があります。「練習はうそをつかない」の気持ちを忘れず、なりたい自分に向かって頑張りましょう。

さて、ここに三冊の本があります。一冊目は「シートン動物記」、二冊目は「十五少年漂流記」、そして「魚図鑑」です。

この三冊は、校長先生が小学校時代、今から50年くらい前に読んだ本です。

「シートン動物記」は、動物のことが大好きだったおばあさんに買ってもらいました。動物記の中でも「オオカミ王ロボ」が大好きでした。ロボというオオカミは、優しく勇気があり、知恵がありました。仲間のために戦う姿に感動し、何回も何回も読みました。

「十五少年漂流記」は、15人の少年たちが、力を合わせて無人島で生活する冒険のお話です。読んでいて、自分も少年たちの仲間になって、無人島で生活をしているような気持ちになったことを覚えています。

そして、「魚図鑑」です。魚釣りが大好きだったおじいさんの影響かもしれません。寝る前に、図鑑を見ながら、こんな大きな魚を釣ってみたい。食べたら美味しいだろうと想像したことを思い出します。

50年経っても読書のことを覚えているなんて不思議ですね。それだけ、読書には不思議な力があるのかもしれません。そして、読書をすることにより、いろいろな言葉を覚えたり、想像する力がついたりします。

東部小は、水曜日は「読書の日」とし、宿題が「読書」となりました。

今、図書室の貸し出

し数が「22783冊」（写真左：図書室前の掲示）となり、昨年よりも増えています。のぎわっ子が、ますます読書の好きな子になってほしいと願っています。



読み聞かせ（保護者ボランティア「ほ・ほ・ほん」の皆様や教師が、定期的に読み聞かせをしています。）

